

# 地球をやさしく包みたい！

丸山繊維産業株式会社



マルラップ (r) (ギフト包装資材)



ふすま地文庫 (ブックカバー)

奈良蚊帳の織り技術を農業用寒冷紗に、さらにギフト包装資材や日本の花鳥風月をデザインした「ふすま地文庫」心をなごませるブックカバーに展開した職人集団である。

## 職人集団が守り・伝える「蚊帳状の粗目織り」と「ものづくり管理技術」の積極的な導入

農業用寒冷紗



当社の粗目織り技術は、奈良の伝統産業の職人技である。通常の織物細布の織りは、一本一本の繊維が細かく隣接し合って織物の目合いは肉眼で認識しづらいが、蚊帳状の粗目織りは経・緯の繊維組織が空間を保ちながら構成している。寒冷紗は通常 20 本／インチであるが、当社はカラミ織りで 3 本／インチまで製織が可能である。織り巾は最大 430cm まで可能。染織樹脂加工は最大 230cm まで、その後の整理仕上げについては、畳み、巻き、スリット、断裁、打抜き、融着、縫製まで一貫した量産体制を整えている。

また管理面では「丸山 ジャストイン5」という工場内在庫管理システムを完成させ、2000 種あるマルラップ (r) 包装資材を当日の午前中受注品は、当日出荷できる体制を作り上げた。

## 社業は奈良蚊帳から

1930年創業以来35年間は奈良蚊帳作りに専念。

1965年からは農業用寒冷紗に、1990年からはトヨタ向けの自動車シート用吊り布を生産、1992年からは包装資材の自社ブランドマルラップ(r)を製造販売している。

奈良はもともと山に囲まれた盆地であるため十分な湿気があり蚊帳作りに適していたかもしれない。近江蚊帳とも競合しながら長年蚊帳作りをしてきたが時代の趨勢に押され、奈良の伝統産業の蚊帳づくりは奈良から消滅した。

しかし、現在の当社の製品には創業以来の蚊帳づくりの技術が脈々と引き継がれている。80年間の蚊帳織り技術と近代技術の染織の接点から生まれるコラボレーションに当社の進路が見える。



## 想いは未来へ

当社はなんと言っても「ものづくり企業」であり、作っている製品は農業資材・工業資材、自動車シート用資材・生活資材・一般消費材まで多岐に及ぶ。幸いにも工場の立地は奈良盆地の真ん中にあり、大型消費地の大阪・兵庫・滋賀・京都・三重に隣接している。社長は最終消費者のお客様を本社工場に誘導したいとの想いが常にあるという。26台の織機と蚊帳の粗目染織りの一貫生産体制を観ていただき、そこでお客様のニーズと会社のシーズを噛み合わせながら、新たな顧客の創造をしていきたいと社長は夢を語る。



[私にとって生きることは仕事だと思っている。

一つの「仕事」を、純粹に、正直に、好奇心を忘れずに、事に感謝して魂に磨きをかけて、更に行えることなら一つ上の感性を高めたい。]

社長の目は輝いている。

## 丸山繊維産業株式会社



代表取締役 丸山 欽也

〒632-0062

奈良県天理市長柄町695番地

TEL 0743-66-1282

FAX 0743-66-2030

URL <http://www.maruyama-seni.co.jp/>